



第21号

令和4年3月1日

発行所

福島県立二本松工業高等学校同窓会
〒964-0937

福島県二本松市榎戸1丁目58ノ2

TEL 0243-23-0960

FAX 0243-22-7388

発行者 丹治茂雄

印刷 キング印刷株式会社

発行部数 3,000部

福島県立二本松工業高等学校 同窓会 会報

校歌

詞 草野心平
曲 小山清茂

一 日輪は 天にかがやき

阿武隈は 光る動脈

ここ榎戸の 美しき地に

日毎集る われら若人

腕組まん ともに

学ばなん ともに

真善美 ひたに求めて

ああ母校 二本松

われらは愛す われらが母校

二 新しく 時はめぐりて

安達太良に 白き雲沸く

ここ榎戸の 台地より見る

あの高きこそ われらが理想

眉あげん ともに

はげまなん ともに

大いなる未来 ひたに望みて

ああ母校 二本松

われらは愛す われらが母校

CONTENTS

同窓会会長挨拶／学校長挨拶	2
新会員の言葉／資格検定試験取得数	3
輝く松工生!!	4
同窓会だより／総会資料	8
学校近況／進路状況	10
同窓生コラムリレー	11
母校だより	12

■松工E-メールアドレス
nihonmatsu-th@fcs.ed.jp

■松工ホームページアドレス
<https://nihonmatsu-th.fcs.ed.jp>



同窓会会長挨拶



丹治 茂雄

プロフィール

昭和二十三年、現在地、二本松市竹田に生まれる。
昭和四十三年、二本松工業高校機械科卒業、クラブ活動は計算尺クラブ。
昭和四十五年、福島大学経済短期大学部卒業。
昭和四十二年、日特エンジニアリング㈱へ入社、平成二十三年三月定年退職。
昭和六十二年、日特エンジニアリング㈱へ入社、平成二十三年三月定年退職。
趣味は、旅行・ダンス・山歩き等。
定年退職後、健康維持と地域活性化のため、趣味の社交ダンス・フォークダンス（スコットッシュ・ユカトリ・ダンス）の公認指導者として、ダンスの普及活動を行いながら、町内会・交通安全指導隊・松寿会等の地域ボランティア活動を行い、現在に至る。

早春の候、会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

本校は昭和三十七年度に、福島県立二本松工業高等学校として開校して以来六十年が経過し、今年の四月には同校名では最後となる第六十一期生が入学してきます。

同窓会は昭和三十九年度、第一期生八十八名の卒業により発足し、今年にはコロナ禍で大変苦労された第五十八期生百十八名が、めでたく卒業入会され、松工卒業生総数は一万二千八十九名となります。

本校は令和五年度には安達東高校との統合校、二本松実業高等学校として現在地に開校されます。コロナ禍で大変な時期ですが、今年の十一月五日・六日に、創立六十周年記念行事として、式典とくろがね祭を開催する予定にしておりますので、今から日程を調整され、ぜひご参集ください。

本年度も新型コロナウイルス問題

があり、国家試験や検定試験に挑戦するのも大変な年でしたが、その中でも後輩たちは、「資格の松工」と、可能な限りの試験に挑戦し、多くの資格を取得しました。指導された先生方、資格を取得された皆さんにお祝い申し上げます。

本年度の同窓会からの激励金は、カヌー部の、七月に山形県で行なわれた東北大会と八月に福井県で行なわれた全国大会、バドミントン部の、一月に岩手県で行なわれた第五十回全国高等学校選抜大会東北地区予選会出場に対し、お祝いと更なる躍進を願い、激励金を贈呈いたしました。

最後になりましたが、コロナ禍で思うように会合も開けない状態ですが、これからも同窓会活動に皆様方の力強いご指導・ご協力をお願いし、皆様方のご活躍・ご健勝をお祈り申し上げます。

学校長挨拶



佐藤 正道

プロフィール

会津美里町出身、専門は工業（化学・セラミック）。
趣味はアコースティックギター、作詞・作曲、読書。
会津工業高校、会津工業本郷分校（定時制）、郡山北工業高校、喜多方桐校高校（教頭）、二本松工業高校（教頭）に勤務し、令和三年四月に本校校長に昇任し、現在に至る。

同窓会の皆様には、日頃より物心両面にわたり多大な御支援と御指導を賜り、心より感謝申し上げます。

お陰様で、本日ここに第五十八回卒業式を迎えることができ、新たに百十八名の卒業生を送り出します。実社会に出て、何よりも頼りになり支えになるのは同窓生の皆様の存在です。新社会人となる後輩たちに、温かい御支援をお願いします。

今年度は、新しい生活様式の下、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、徐々に学校教育活動を再開しました。日々の授業はもちろんのこと、各種行事、資格取得、部活動大会などに取り組み、生徒の頑張りが成長が見られました。

校内陸上競技大会や校内球技大会では、「松工オリンピック」と名付けてもよいほどの盛り上がりとなり、学校やクラスが一つになれた行事でした。修学旅行も実施でき、東北の歴史・文化を学ぶとともに、友情を深めたことと思います。

実社会で通用する資格に挑戦する生徒も増え、国家技能検定三級（旋盤作業）、第一種・二種電気工事士、ITパスポート、二級土木施工管理技士補を取得しています。最近では、品質管理検定（QC検定）にも取り組み、工程管理や改善活動ができる工業技術者の育成に努めています。

さて、来年度は大きな節目となる創立六十周年となり、改めて本校の歴史の重みを感じています。建学の精神を再認識し、より一層地域から愛される学校を目指します。「ものづくりを通してひとづくり」を掲げ、生徒一人一人に寄り添い、生徒の夢の実現に向け、教職員一丸となって支援していきます。統合後も、この人材育成の理念・方針を学校の特色として堅持しながら、探究的・協働的・実践的な学びを特化させていきたいと考えています。

最後に、会員の皆様のますますの御活躍と御健勝をお祈り申し上げます、挨拶とします。

過去5年間の資格検定試験年間取得数の推移

令和4年2月1日現在

資格名		年度	平成	平成	平成	令和	令和
			29 年度	30 年度	31 年度	2年度	3年度
国家試験	ガス溶接技能講習		41	39	37	35	29
	ボイラー取扱技能講習		77	41	38	39	32
	電気工事士	第1種	16	7	2	1	5
		第2種	17	21	10	13	15
	危険物取扱者	乙1類	1		3		
		乙2類	1		2		
		乙3類	1				
		乙4類	9	2	4	3	1
		乙5類	1				
		乙6類	1		1		
		丙種					
	消防設備士	乙4類					
	土木施工技術者	2級	8	10	23	23	31
	車両系建設機械 運転技能者	小型車両	16	29	6	3	10
		小型クレーン	6	25	8	17	4
		フォークリフト	35	85	42	2	19
		高所作業	3	14	2		
		締固め機械	6	17		1	4
	工事担任者試験	玉掛け	10	41	7	4	4
		総合種			1		
		DD1種	0	4			
	技能士（機械加工 / 普通 旋盤）	DD3種	13	7	15	7	
		2級	2				
		3級	5		1		3
	ITパスポート		4				3
検定試験	実用英語能力検定	準2級	1			1	0
		3級	2	1	2	1	1
	リスニング英語検定	1級			7		4
		2級	20	4	37	5	30
		3級	42	12	34	26	45
	計算技術検定	1級	1				
		2級	1		1	1	1
		3級	61	114	118	90	86
	日本漢字能力検定	2級					1
		準2級	1		1	4	5
		3級	5	12	15	27	30
		4級	11	58	18	10	28
		5級		4			
	情報技術検定	1級					
		2級	6	4	11	15	3
		3級	26	57	32	27	23
	実用数学技能検定	準2級					
		3級	2			1	1
	基礎製図検定		44	15	5	16	17
	機械製図検定		26	32	25	25	32
	測量技術検定	1級	24	35	32	38	25
		2級	45	33	37	38	24
	パソコン利用技術検 定	1級	2				1
		2級	1	4	1	3	2
		3級	61	57	63	60	53
合 計		655	784	641	536	572	
生 徒 数		401	380	354	333	305	
一人あたりの平均年間取得数		1.63	2.06	1.81	1.61	1.88	

新会員のことは

三年一組 鈴木 日向

この度は、五十年以上の歴史を持つ二本松工業高等学校の同窓会へ入会できるということに、心より嬉しく思います。

二本松工業高等学校に入学してからの日々は思い出深くも、あつという間の三年間でした。入学した当時は、クラスに馴染むことができたか不安でしたが、クラスメイトが優しく接してくれたこともありすぐに馴染み、友好的な関係を築くことができました。その結果、スポーツ大会などの行事を成功させることができたり、定期考査や資格対策、就職、進学先の情報共有などを行い、目標に向けてクラス全員で協

力しながら勉学に励むことができました。

私は三年間を充実させて過ごすことができたのは学校全体のサポートがあったからだと思います。学校生活の面では課外による勉強、資格対策などを行ってくださったり、学校行事の運営を行ってくださったからこそ学校生活を円滑に過ごすことができたと思います。

私達が無事に卒業式を迎えることができたのは多くの人々に支えられたからです。この恩を返すという意味でも、それぞれの進路先で日々精進し、社会に貢献していきたいと思っています。そのためにも、皆様方のご指導を何卒よろしくお願い致します。



福島県行政書士会

行政書士秋山孝雄事務所

〒964-0936 二本松市諸越谷 86 番地 1

TEL/FAX 0243-22-4737

e-mail: akiyama.2013@ae.auone-net.jp

書類作成のことならおまかせください

行政書士 秋山孝雄（第6代松工同窓会会長／S39年機械科卒第1期生）

【相続関係・農地転用・各種申請書類作成】



心と込めてかたらづくり

総合建設業・一級建築士事務所

菅野建設工業株式会社

代表取締役 菅野 泰助

絆

本社／福島県本宮市長屋字征矢田6 TEL 0243-44-2120

支店／福島・郡山・二本松・田村・川俣 FAX 0243-44-4102

輝く松工生!!

サッカー部



私たちサッカー部は、五月のインターハイ地区予選に参加しました。結果は敗者復活三位決定戦で勝ち、県大会へ出場することができました。県大会では郡山高校と戦い、〇対一で敗れてしまいました。

次に、八月から全国高校サッカー選手権福島県予選に参加しました。松工はシード枠に入っていたので二回戦からの参加になり、あさか開成に四対〇で勝利し、続く三回戦では福島東と戦い〇対九で敗れました。強豪校との力の差を見せつけられる結果となりました。四月からF2リーグに参加し十八試合の戦いを終え、F3リーグ降格という残念な結果になってしまいました。

十一月から新人戦県北地区予選に参加しました。熱い戦いが繰り広げられ勝ち進んでいき、決勝戦で成蹊高校に〇対五で敗れはしたものの二位で県大会出場となりました。県大会一回戦では福島西と戦い、延長でも一対一でPK戦で決着をつけることになりました。結果は三対四で惜しくも負けてしまいました。とても悔しい試合になりました。松工サッカー部は、一試合でも多く勝ち、結果を残せるように日々の練習に取り組んでいきたいと思っています。

主将 遠藤 蒼空

令和三年度 第六十七回福島県高等学校体育大会サッカー競技 県大会

令和三年五月二十九日(土)

一回戦 × 〇ー一 郡山

第百回全国高校サッカー選手権大会 福島県大会

一次大会 八月二十八日(土)

二次大会 十月十六日(土)

一次大会 二回戦 〇 四一〇 あさか開成

二次大会 三回戦 × 〇ー九 福島東

令和三年度福島県高等学校新人体育大会 県大会

令和三年十一月十二日(金)

一回戦 × 一一一 (PK 三ー四)

十一月十五日(月) 福島西

高円宮杯 JFA

U-18サッカーリーグ二〇二二 福島

2部リーグ(F2)

令和三年四月三日〜十月二日

十五敗三分(勝点三) 十位 F3降格



カヌー部

「輝け君の汗と涙」



カヌー部では、二年ぶりの開催となったインターハイに四名が出場し、カヤック、カナディアン種目で準決勝進出を果たすことができました。コロナ禍の中、大会直前まで本当に開催できるのか不安はあったものの、久しぶりの全国大会でも選手たちは、臆することなく、それぞれの思いを乗せたレースができたと思います。特に三年生二名にとっては、これまでにはない特別な思いを抱いての大会出場となりました。

令和二年度、誰もが予想していなかった新型コロナウイルス感染症の拡大により、休校や部活動の活動制限等、大きな戸惑いと不安を覚え、様々な大会が中止となりました。全国大会や世界大会に出場し、飛躍の年となるはずだった先輩方の悔しい背中を目の当たりにし、それでも仲間と共に困難な状況下でも今やれることは何かを探し、前向きに活動を継続してきたからこそ、得たものがあつたと信じています。全国大会が開催されたことへの感謝や一緒に練習してきた仲間、支えてくれていた家族への感謝をこれまで以上に感じ、それが自分の力になることを実感できた貴重な大会となりました。カヌー部は、更なる高みを目指し、これからも切磋琢磨していきたいと思っています。

柳沼 恵子



第六十七回福島県高等学校体育大会 カヌー競技

令和三年六月六日

男子K-1 一位 野地 寿

男子K-2 一位 野地 寿・小山遼大

男子C-1 一位 水木智也

男子C-2 二位 高橋 昊

男子C-2 一位 水木智也・高橋 昊

令和三年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技

令和三年八月十八日

男子K-1 準決勝進出

男子K-2 準決勝進出 野地 寿

男子C-1 準決勝進出 野地 寿・小山遼大

男子C-2 準決勝進出 水木智也

男子C-2 準決勝進出 水木智也・高橋 昊

令和三年度第二十九回福島県高等学校新人カヌー選手権大会

令和三年九月五日

男子K-1 二位 小山遼大

男子 K-1 三位 大津加悠麻
男子 C-1 一位 高橋一真
男子 C-1 二位 高橋 昊

バドミントン部



私たちバドミントン部は令和三年十一月から始まった新人戦に参加しました。地区予選では、男子学校対抗戦で優勝し、個人戦では男子ダブルス優勝、男子シングルス優勝を含め、ダブルスでは三組、シングルスでは三名が県大会へと駒を進めました。

県大会での学校対抗戦の初戦は、若松商業高校と対戦しました。初戦ということもあり、とても危なかったのですが先に三セットと勝ち取ることで済みました。そして一番の山場である二回戦目、ここには勝てばベスト四以上が確定する場面で対戦する高校は安達高校でした。今まで私たちは安達高校に負け続けていたのですが、今回三対二という接戦の末、勝利することができ、準決勝まで進むことができました。迎えた相手は帝京安積高校でしたが、格上相手に粘り強く奮みつきましたが、一セットも取れずに〇対三で負けてしまいました。代表決定戦では、原町高校に三対一で勝ち、三位入賞とさらに東北大会への出場が決まりました。

年が明け二〇二二年となり、一月二〇日から岩手県花巻市で全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選が行われました。新型コロナウイルスの影響で、無観客で行われ、声を出し

ての応援は禁止とされ拍手のみでの応援となりました。もちろん感染予防対策を入念に行い選手八名と顧問二名で参加しました。初戦は岩手県第三代表の水沢第一高校と戦い三対一で勝ち、昨年の目標だった「東北大会で一勝する」という目標が達成できました。二回戦目は宮城県第一代表の聖ウルスラ学園英智高校と戦い〇対三で敗れました。格上の相手と戦うことで全体の課題点や個人での改善点が見えてきてとても良い、次へとつながる経験となりました。

私たち二年生が活動できる、バドミントン生活は、あと半年ほどしかありません。そのなかでもテストや検定などといった学問にも、力を注がなくてはなりません。そういったことも考えながら部活動に励みたいし、今の一年生はほとんどが初心者なので、私たちが教えられることは全て教えてあげたいと思っています。

文武両道を目指しながら、悔いが残らないように今までも一層練習に力を入れて取り組んでいきたいと思っています。

東北大会出場者

二年 石井 政人

二年一組 機械システム科

大内 雅也

佐藤 颯

高橋 歩夢

二年三組 都市システム科

石井 政人

佐久間健大

廣瀬 光義

遊佐 龍世

一年一組 機械システム科

菅本 真矢

令和三年度第五十八回福島県高等学校体育大会バドミントン競技

五月二十八日～五月三十一日

あいづ総合体育館

男子学校対抗戦

一回戦 三対〇 磐城桜が丘

二回戦 一対三 会津工業

男子ダブルス（四組出場）

ベスト8 高橋歩夢・佐久間健大

ベスト32 大内雅也・石井政人

二回戦敗退

安田京平・佐藤 颯、

斎藤颯斗・菅本真矢

男子シングルス（五名出場）

ベスト32 安田京平、佐久間健大

一～二回戦敗退

高橋歩夢、佐藤颯、大内雅也

令和三年度福島県総合体育大会バドミントン競技

七月七日～九日

いわき市総合体育館

男子ダブルス（四組出場）

二回戦敗退

安田京平・佐藤 颯、

斎藤颯斗・菅本真矢

大内雅也・石井政人

三回戦敗退

高橋歩夢・佐久間健大

男子シングルス（五名出場）

二回戦敗退

安田京平、高橋歩夢、佐藤颯、

大内雅也、佐久間健大

令和三年度第五十八回福島県高等学校新人体育大会バドミントン競技

十二月十日～十二日

白河市中央体育館

男子学校対抗戦

二回戦 三対二 若松商業

三回戦 三対二 安達

準決勝 〇対三 帝京安積

シード順位決定戦 三対二 原町

男子ダブルス（四組出場）

ベスト16 高橋歩夢・佐久間健大

ベスト16 廣瀬光義・遊佐龍世

二回戦敗退

大内雅也・石井政人、

佐藤 颯・菅本真矢

男子シングルス（四名出場）

ベスト16 佐久間健大

一～二回戦敗退

高橋歩夢、佐藤颯、大内雅也

令和三年度第五十回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会

一月二十日～二十一日

花巻市総合体育館

男子学校対抗戦

一回戦 三対一 水沢第一高等学校

二回戦 〇対三 聖ウルスラ学院英智高等学校



信頼ある製品と最高の品質を目指し

テクノメタル株式会社
TECHNO-METAL CO., LTD.

〒964-8585 福島県二本松市高田100番地
TEL(0243)23-8100 FAX(0243)23-8126

URL <http://www.t-metal.jp>

野球部



私たちは野球部は、令和三年五月頃に行われた春季東北地区高等学校野球選手権福島大会に参加しました。県北地区予選大会では、一回戦に福島工業高校と対戦し、一対〇で勝利しました。準々決勝では保原高校と対戦し、一対〇で勝利しました。準決勝では安達高校と対戦し、七対四で勝利しました。決勝戦では、聖光学院高校と対戦し敗れてしまいました。県大会への出場権を得ることができました。しかし県大会では、日大東北と対戦し〇対十二で敗れました。県大会のレベルの高さを実感することができ、県大会で一勝するという次の目標ができました。

夏の大会では三年生最後の大会で、郡山北工業高校と対戦しましたが、惜しくも敗れてしまいました。三年生の叶えられなかった夢を新チームで叶えられるよう日々努力を重ねています。

三年生が引退し間もなく、秋季東北地区高等学校福島県大会では、須賀川桐陽高校と対戦しコールドで敗れました。新チームで初めての公式戦で悔しい思いをしました。その悔しさをバネに今年の練習を頑張っています。

今年の春、夏の大会では、三年生の思いを背負い最後の松工として目標を達成できるように頑張っていきたいと思っています。

マネージャー

根本 朋佳
鈴木 華心
藤井 まなか

●第七十三回春季東北地区高等学校野球福島県大会

令和三年五月十五日(土)
一回戦 対日大東北高校
〇―一二で敗退

●第一〇三回全国高等学校野球選手権福島大会

令和三年七月十日(土)
一回戦 対郡山北工業高校
〇―一七で敗退

●第七十三回秋季東北地区高等学校野球福島県大会

令和三年九月十九日(日)
一回戦 対須賀川桐陽高校
〇―一〇で敗退

卓球部

僕たち卓球部は十二名で活動しています。夏休みの練習では、様々な練習をしました。朝早く学校に来て準備をしたり、とても暑い中声を出したり、試合形式の練習をするなど、新人戦に向けて準備をしました。新人戦県北大会では、男子学校対抗で三位に入賞し、表彰されました。この成績は二本松工業高等学校卓球部が今までに取ることがない成績です。また、シングルスとダブルスの両方で県大会の出場権を獲得することができました。

県大会に向けての練習はとてつもないハードなものでした。一回でも多く勝てるように、試合形式などの実践的な練習をしたり、練習試合を数多く行ったりしました。試合での戦い方がだいぶ向上しました。新人戦県大会の学校対抗では、清陵情報高校に三対一で勝利し、初戦を突破することができました。しかしながら、二回戦では平工業高校に二対三で敗れてしまいました。結果はベスト十六でした。ダブルスでは、初戦を勝ち、次の試合で優勝した帝京安積高校のペアに敗れました。シングルスでは、出場した二人とも四回戦まで勝ち進み、ベスト三十二という結果を残すことができました。全体的に見ると、新人戦県大会



は、悔いが残る結果で終わってしまいました。試合後、次は学校対抗戦で平工業高校に勝つという目標やダブルスとシングルスで負けた帝京安積高校の選手に一セット取ることが目標など、新たな目標を設定することができました。この目標を達成するために努力していきたいと考えています。

二本松工業高校の卓球部では、体の使い方、理解するために、キャッツアンドドックというトレーニングをしています。また、プロ選手の動きを参考にしたり、卓球に関する本を読んだりするなど、卓球の理論を理解し、練習を行っています。質の高い練習を心掛けています。また、技術向上だけでなく、人としての成長も目標にしています。練習の準備をできる限り早くすることや、みんなで助け合いながら片付けをすることによって、人として成長できると考えています。その他にも経験を積むためにたくさん練習試合を行っています。来年のインターハイに向けて、今までも成長できるように努力していきたいです。インターハイ県大会では、学校対抗ベスト八、個人戦での東北大会初出場を目指していきます。

県大会出場者

一年一組 機械システム科 片吉 章
一年二組 情報システム科 荒川 雄斗

一年三組 都市システム科 高橋 直希
二年一組 機械システム科 佐々木 倭汰
二年二組 情報システム科 北村 仁
二階堂 零

●令和三年度福島県高等学校体育大会卓球競技

五月二十八日～五月三十一日
猪苗代町総合体育館
男子学校対抗
一回戦 〇 三対一 勿来工業
二回戦 × 〇 対三 郡山商業
ベスト16
男子シングルス

高橋 瑞樹 三回戦進出

●令和三年度福島県総合体育大会卓球競技

七月八日～十日 押切川公園体育館
少年男子個人
片吉 章 一回戦敗退

●令和三年度全日本卓球選手権大会ジュニアの部福島県予選

九月十八日 いわき市立総合体育館
男子ジュニアシングルス
北村 仁 四回戦進出
片吉 章 二回戦進出
ベスト32

●令和三年度福島県高等学校新人体育大会卓球競技

十一月十九日～二十二日 須賀川アリーナ
男子学校対抗
一回戦 〇 三対一 清陵情報
二回戦 × 二対三 平工業
ベスト16
男子ダブルス

北村 仁・片吉 章組 三回戦進出
男子シングルス
北村 仁 四回戦進出
片吉 章 四回戦進出
ベスト32

バスケットボール部

県大会出場無

●令和三年度 福島県高等学校体育大会
バスケットボール競技 県北地区予選

令和三年五月八日(土)

五月十一日(火)

一回戦 二本松工業

三五一九四 福島東

県大会出場決定トーナメント

二本松工業

五一七〇 橘

●令和三年度 福島県高等学校バスケット

ボール選手権大会 県北地区予選

新型コロナウイルス感染症により中止

●令和三年度 福島県高等学校新人体育大会

バスケットボール競技 県北地区予選

令和三年十二月十一日(土)

十二月十二日(日)

一回戦 二本松工業

四二一〇〇 福島商業

県大会出場決定トーナメント

二本松工業

四一一〇一 福島

ソフトテニス部

●第六十七回福島県高校体育大会

ソフトテニス競技

令和三年六月四日(金)

六月五日(土)

男子個人戦

一回戦敗退

高橋優那・牛坂亮太

男子団体戦

一回戦敗退 松工 一一二 光南

一回戦敗退 中村謙斗・磯目晃(磐城)

●第七十四回福島県総合体育大会

ソフトテニス競技(少年の部)

令和三年七月十日(土)

七月十一日(日)

男子個人戦

一回戦敗退

橋本耀太・大石海斗

〇一四 新井・三浦(学法石川)

●令和三年度福島県高等学校新人体育大会

令和三年十一月五日(金)

十一月六日(土)

男子個人戦

一回戦敗退 高橋優那・牛坂亮太

〇一四 根本・佐久間(清陵情報)

二回戦敗退 橋本耀太・大石海斗

〇一四 鈴木・小島(白河)

男子団体戦

一回戦敗退

松工 一一二 喜多方桐桜

陸上競技部

県大会出場無

●令和三年度県北陸上競技協会

春季記録会

令和三年四月二十四日(土)

二十五日(日)

男子一〇〇m

間島 創詩 十二秒五八(SV)

橋本 優雅 十二秒五三(SV)

男子二〇〇m

間島 創詩 二六秒四〇(SV)

●第六十七回福島県高等学校体育大会

陸上競技大会 県北地区予選

令和三年五月八日(土)

十日(月)

男子一〇〇m予選

松浦 健真 十二秒一〇(PV)

面川 翔栄 十一秒八二(SV)

安田 悠護 十二秒二四(SV)

男子二〇〇m予選

安田 悠護 二四秒八二(PV)

橋本 優雅 二五秒三八(PV)

男子一五〇〇m予選

星 空良 五分〇七秒四五(SV)

男子四×一〇〇m

間島創詩・面川翔栄・橋本優雅・

松浦健真 四六秒二〇(PV)

男子やり投

星 空良 二三m一三(SV)

●第七十四回福島県陸上競技選手権大会

令和三年六月二十五日(金)

二十七日(日)

柔道部

●令和三年度第六十七回福島県

高等学校体育大会柔道競技 県大会

令和三年度 六月五日(土)

七日(月)

男子団体戦

ベスト16

水田 秀 ベスト16

高橋 塊 一回戦敗退

三浦 隼翔 一回戦敗退

安齋 美喜 ベスト8

●令和三年度第七十四回福島県

総合体育大会 県大会

令和三年度七月三日(土)

四日(日)

先鋒の部

水田 秀 棄権

副将の部

三浦 隼翔 一回戦敗退

中堅の部

安齋 美喜 棄権

●令和三年度第六十一回福島県

高等学校新人体育大会 県大会

令和三年度十月二十九日(土)

三十日(日)

70kg 水田 秀 二回戦敗退

90kg 三浦 隼翔 一回戦敗退

60kg 安齋 美喜 優勝

●令和三年度第四十四回全国高等学校

柔道選手権福島県大会

令和三年度 十二月八日(水)

十日(金)

無差別 安齋 美喜 3位

剣道部

●令和三年度福島県高等学校体育大会

県大会

令和三年度六月四日(金)

七日(月)

男子団体戦出場 (一回戦敗退)

株式会社 野地組
Inter Déco Haus 福島

〒969-1404 福島県二本松市油井字赤坂山27

tel 0243-23-0131 fax 0243-23-1296

URL www.nojigumi.net

CONSTRUCTION COMPANY
NOJIGUMI

同窓会 だより

◆ 総会報告 ◆

令和三年度福島県立二本松工業高等学校同窓会総会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、二本松工業高校のホームページに掲載して実施をいたしました。

議事は、第一号議案令和二年度事業報告、第二号議案令和二年度決算報告並びに会計監査報告、第三号議案令和三年度事業計画（案）、第四号議案令和三年度予算（案）について提出をいたしました。ご意見等もなかったため当該提出議案はすべて可決されたとみなしました。

次年度につきましては、従来の実施方法で考えておりますが、新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら判断をさせていただきます。何卒御理解を賜りますようお願いいたします。

学校統合に向けて

本校と安達東高校の統合について現況お知らせ致します。

新聞等により詳細な報道がなされていますが、本年四月の入学生が最後の松工生となり、来年四月（令和五年）には「二本松実業高校」一期生が誕生することになります。

学校においても肅々と、また細部に至るまで慎重な協議が重ねられている状況です。同窓会では、もはや賛否の議論調整の時期を過ぎたことを深く認識し、安達東高校同窓会との「同窓会の一本化」を図るべく胸襟を広げ協議を進めております。

本年六十周年の本校は一万一千人の卒業生、五十周年の安達東校は六千人の卒業生。誇りある両校同窓会が合流し、勢い倍増のエネルギーマをもって生徒を学校を、温かく強力に支援していくよう、会員各位のご理解と御協力をお願い致します。

副会長 大内正人

■ 令和2年度 同窓会収支決算書 ■

収入額合計 1,082,511 円
支出額合計 606,372 円
繰越金 476,140 円

収入の部

科目	2年度予算額	2年度決算額	増減額	備考
会費	585,000	585,000	0	117人×5,000円
入会金	196,000	196,000	0	98人×2,000円
雑収入	2	4	2	預金利息等
入会金返金	0	0	0	退会0名×2,000円
繰越金	301,508	301,508	0	
計	1,082,510	1,082,510	2	

支出の部

科目	2年度予算額	2年度決算額	増減額	備考
会議費	160,000	20,252	139,748	役員会、同窓会総会
行事費	21,000	0	21,000	入会式
通信費	50,000	35,332	14,668	総会案内ハガキ等
会報費	150,000	161,931	▲11,931	会報発行(3,000部)
慶弔費	10,000	0	10,000	香典
記念品費	130,000	128,505	1,495	卒業記念品(ホルダー)
後援費	120,000	38,566	81,434	バドミントン激励金、野球・サッカー広告費
事業費	200,000	173,606	26,394	会報発送等(1459部)
事業積立金	0	0	0	
事務費	80,000	48,180	31,820	会員データ入力費・事務用品
予備費	161,510	0	161,510	
計	1,082,510	606,372	476,138	

■ 令和3年度 同窓会収支予算 ■

収入額合計 1,252,150 円
支出額合計 1,252,150 円

収入の部

科目	2年度予算額	3年度予算額	増減額	備考
会費	585,000	585,000	5,000	118人×5,000円
入会金	196,000	186,000	▲10,000	93人×2,000円
雑収入	2	10	8	預金利息等
繰越金	301,508	476,140	174,632	
計	1,082,510	1,252,150	169,640	

支出の部

科目	2年度予算額	3年度予算額	増減額	備考
会議費	160,000	160,000	0	役員会、同窓会総会
行事費	21,000	21,000	0	入会式
通信費	50,000	50,000	0	ハガキ、切手
会報費	150,000	200,000	50,000	会報発行
慶弔費	10,000	10,000	0	香典、その他
記念品費	130,000	130,000	0	卒業記念品
後援費	120,000	120,000	0	激励金、広告
事業費	200,000	200,000	0	会報発送等
事業積立金	0	0	0	事業積立金
事務費	80,000	80,000	0	データ入力費・事務用品
入会金返金	0	0	0	
予備費	161,510	281,150	119,640	
計	1,082,510	1,252,150	169,640	

歳出予算科目に過不足が生じたときは、会長にはかり各科目間において流用することが出来る。

■令和2年度 同窓会事業報告■

期日	事業名	出席者	会場
R2.4.9 (木)	第58回入学式		二本松工高
R2.5.13(水)	第1回三役・事務局合同会議	三役、事務局 14名	二本松工高
R2.5.20(水)	同窓会会計監査	監事、事務局 5名	二本松工高
6月	同窓会理事会 ※1	書面による開催	
7月	同窓会総会 ※2	HP掲載で開催	
	激励金贈呈式	会長	二本松工高(会議室)
R3.1.12(火)	○バドミントン部 令和2年度 第49回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選 (CNAアリーナ★あきた) 令和3年1月14日(木)～17日(日) 2-1 安田京平 伊藤 新 1-1 高橋歩夢 大内雅也 佐藤颯斗 斎藤颯斗 1-3 石井政人 佐久間健大		
1.18 (木)	第1回会報委員会	事務局	二本松工高
2.17 (水)	第2回会報委員会	会報委員、事務局 6名	二本松文化センター
2.26 (金)	同窓会入会式(中止)、記念品贈呈	事務局	二本松工高
3.1 (月)	同窓会会報第20号発行		
3.1 (月)	第57回卒業証書授与式 ※3	会長	二本松市民会館
3.16 (火)	第2回同窓会三役・事務局合同会議	三役・事務局	二本松文化センター

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、書面決議を実施
 ※2 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、本校ホームページ掲載による開催
 ※3 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、会長のみ出席

■令和3年度 同窓会事業計画■

月	事業	期日	会場
令和3年4月	第60回入学式	令和3年4月9日(金)	二本松市民会館
5月	同窓会監査(令和2年度)	4月27日(火)	二本松工高
	第1回三役・事務局合同会議	5月11日(火)	二本松工高
6月	同窓会理事会 ※1	6月下旬	
7月	同窓会総会 ※2	7月下旬	
12月	第1回会報委員会	12月上旬	二本松工高
令和4年1月	同窓会会則説明・クラス幹事推薦依頼	令和4年1月下旬	二本松工高
	第2回会報委員会	2月下旬	二本松工高
2月	第2回同窓会三役・事務局合同会議	2月上旬	二本松工高
	個人情報保護説明・同意書配布	2月下旬	二本松工高
	第58回同窓会入会式	2月28日(月)	二本松工高
	第58回卒業証書授与式	3月1日(火)	二本松工高
3月	同窓会会報第21号発行	3月1日(火)	
	役員選考委員会	3月中旬	

※ 激励金贈呈式 随時
 ※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、書面決議を実施
 ※2 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、本校ホームページ掲載による開催

次世代を創造する技術と信頼で社会資本整備に貢献します。



TOHSYOW
 ◇測量全般
 ◇土木設計
 ◇3次元計測
 ◇インフラ点検
 ◇地質土質調査
 ◇開発許可申請

株式会社 東昇コンサルタント
 代表取締役 鈴木 朝裕

本 社 〒964-0905 福島県二本松市松岡199番地10
 TEL(0243)24-7111 FAX(0243)24-7117
 郡山営業所 〒963-8061 郡山市富久山町福原字舟橋97-1
 TEL(024)991-6622 FAX(024)933-6677



KITASHIBA
 電気を元気にする会社
北芝電機株式会社
<https://www.kitashiba.co.jp>

北芝松工会 同窓生一同
 本社・工場 福島市松川町字天王原9番地

令和2年度～令和3年度
福島県立二本松工業高等学校
同窓会役員名簿

会 長	丹治 茂雄	S40 機械
副 会 長	大内 正人	S44 電気
〃	菊地 清義	S44 電気
〃	小形 義元	S48 土木
〃	高橋 薫	S49 機械
〃	山川 博徳	S55 土木
〃	鈴木 新栄	S57 機械
会 計	小沢源太郎	S60 土木
〃	小林 龍一	機械システム
監 事	安斎 邦衛	S54 機械
〃	鈴木 朝裕	S57 土木
〃	金子 智弘	S60 土木
事務局長	佐藤 秀幸	都市システム
事務局次長	高橋 周平	H 5 電子
〃	佐々木英雄	情報システム
理 事	齋藤 喜市	S41 土木
〃	星 光	S42 機械
〃	杉内 洋介	S43 機械
〃	菅野 和夫	S44 機械
〃	尾形 巳芳	S47 電気
〃	本田 正	S47 土木
〃	熊谷 勝郎	S49 土木
〃	嶋原 彰	S49 機械
〃	高橋 道夫	S53 機械
〃	茂木 安久	S55 機械
〃	加藤 高洋	S59 土木
〃	石川 正功	S60 電気
〃	斎藤 龍一	H 5 電子
〃	佐藤 幸好	H 9 土木
〃	菅野 雅利	H 9 土木
〃	石川 清徳	H10 土木
〃	二階堂卓也	H12 機械
〃	菅野 健太	H12 機械
〃	安斎 秀輝	H12 土木
〃	嶋原 望美	H15 デザイン
〃	斎藤 美奈	H15 デザイン

歴代会長

S41～S44	鈴木 清治	S39 電気
S45～H11	阿相 利和	S39 機械
H12～H15	佐藤 昭次	S41 土木
H16～H19	菅野 吉三	S42 機械
H20～H25	佐藤 忠司	S40 土木
H26～H29	秋山 孝雄	S39 機械
H30～	丹治 茂雄	S40 機械

会報委員会

会報委員長	高橋 薫
副委員長	鈴木 朝裕
委 員	大内 正人
委 員	高橋 道夫
委 員	石川 清徳
委 員	菅野 健太
委 員	嶋原 望美
委 員	斎藤 美奈
委 員	齋藤 倫紹(事務局)
委 員	佐々木英雄(事務局)

役員選考委員会

選考委員長	山川 博徳
副委員長	菊地 清義
委 員	齋藤 喜市
委 員	小形 義元
委 員	鈴木 新栄
委 員	高橋 周平
委 員	佐藤 秀幸(事務局)
委 員	山口 真二(事務局)
委 員	鈴木 正美(事務局)

事務局

事務局長	佐藤 秀幸	都市システム
事務局次長	佐々木英雄	情報システム
事 務 局	山口 真二	機械システム
事 務 局	齋藤 倫紹	情報システム
事 務 局	小林 龍一	機械システム
事 務 局	鈴木 正美	都市システム

校内スポーツ大会 (松工オリンピック)



課題研究発表会



令和3年度 進路内定状況

令和4年2月15日現在

学科・クラス	生徒数 (うち女子数)	就 職						進 学						未定	
		県 内		県 外		公務員		縁故自営		大 学		短期大学			
機械システム科1組	39 (0)	34 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
情報システム科2組	39 (12)	20 (6)	6 (3)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (3)	1 (0)	1 (0)	1 (0)
都市システム科3組	40 (0)	23 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	4 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	5 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)
合 計	118 (12)	77 (6)	10 (3)	3 (0)	1 (0)	8 (0)	1 (0)	8 (0)	1 (0)	1 (0)	16 (3)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)
	計	91 (9)						25 (3)						2 (0)	
	進路別率	77.1%						21.2%						1.7%	

就職 【県内】	
(株) IHI 物流産業システム	天昇電気工業 (株) 福島工場
アズビル金門エナジープロダクト (株) 白沢工場	(株) デンソー福島
(株) アドバンス	東部ガス (株) 福島支社
(有) 飯田製作所福島第二工場	東北センコー運輸 (株) 福島営業所
石橋建設工業 (株)	(株) 東北電設
(株) エイチワン郡山製作所	(株) 東北村田製作所郡山事業所
AGC エレクトロニクス (株)	東レプラスチック精工 (株) 郡山工場
NOK エラストマー (株) 東北事業所	日東紡績 (株) 福島工場
(株) 尾形土建	(株) 日東紡テクノ
(株) 小野工業所	NITTOKU (株)
川名建設工業 (株)	ニプロファーマ (株) 鏡石工場
菅野建設工業 (株)	(株) 日本デジタル研究所
北芝電機 (株)	二本松 NOK (株)
光栄電気通信工業 (株)	(株) 日本理化エナジシステム福島事業所
小林ガス (株)	ノオコー建設 (株)
(株) 小松製作所生産本部郡山工場	(株) 野地組
(株) 佐藤製作所福島工場	福島キヤノン (株)
(株) 山王東北事業部	福島建機 (株)
三立土建 (株)	福島サンケン (株)
(株) 菅澤建設	(株) 福島芝浦電子
(株) 菅野土建	福島プラスチックス (株)
(株) 須南電設	富士ダイス (株) 郡山製造所
住化アグロ製造 (株)	藤田建設工業 (株)
大宝建設 (株)	前澤給装工業 (株) 福島工場
(株) タカギセイコー東北工場	(株) 丸忠建設工業
(株) 高橋設備工業所	マレリ福島 (株)
(株) 田口型範二本松工場	(株) ヤクルト本社福島工場
(株) チバコー	安斎建築
テクノメタル (株)	

就職 【県外】	
アイリスオーヤマ (株)	日本貨物鉄道 (株) 東北支社
(株) 成城石井	富士ソフト (株)
(一財) 東北電気保安協会	向井建設 (株)
七海建設 (株)	山崎製パン (株)
日清製粉 (株) 鶴見工場	(株) ワイテック

公務員	
県職員 (電気職)	自衛隊 (自衛官候補生)
県職員 (土木職)	

大学・短大	
会津大学コンピュータ理工学部 コンピュータ理工学科	日本大学工学部電気電子工学科
東北工業大学工学部都市マネジメント学科	日本大学工学部情報工学科
日本工業大学建築学部建築学科生活環境デザインコース	福島学院大学短期大学部保育学科
日本大学工学部土木工学科	

専修学校等	
セイセンビジネス公務員カレッジ行政マネジメント科	国際情報工科自動車大学校自動車車体工学科
郡山健康科学専門学校理学療法学科	国際情報工科自動車大学校ゲームソフト開発科
郡山健康科学専門学校作業療法学科	宮城県立白石高等技術専門校プログラムエンジニア科
国際ビューティ&フード大学校美容学科	山形工科短期大学校居住システム系住居環境科
国際ビューティ&フード大学校トータルビューティ学科	福島県立テクノアカデミー郡山職業能力開発校建築科
国際情報工科自動車大学校自動車工学科	福島県立テクノアカデミー浜職業能力開発校自動車整備科



株式会社 田口型範
https://www.tpw.co.jp



代表取締役社長 田 口 脩一郎



本 社 〒332-0032 埼玉県川口市中青木2-20-15 TEL(048)251-2765
川口工場 FAX(048)256-0403
二本松工場 〒964-0981 福島県二本松市平石高田4-123 TEL(0243)23-2517
FAX(0243)23-2790

「色々な経験は財産になる」



(株)東北村田製作所
国分 久幸

一九九八年に当時の電気科を卒業して二十四年目になりますが、思い返すと在学中は部活漬けの毎日でした。高校には部活をする為に通っていたといっても良いぐらいです。サッカー部に所属し楽しいことも辛いこともありましたが、今となつては良い思い出となつていますし、投げ出さずにやり切ったことが今に繋がる所もあります。高校卒業後は旧ソニーエナジーデバイスへ就職(現在の東北村田製作所)して、ドアホン、テレビの部品、電池の製造と色々な製造現場を経験してきました。国内・国外の事業所へ出張する機会もあり、海外の社員とも交流をさせていただく機会に恵まれ良い経験をさせて貰っています。海外事業所ではそのサッカー試合にも参加させてもらうこともできました。

この会社を選択したきっかけは本当に些細な理由で、世界のソニーだからでした。とは言え始めの一年は右も左も知らない若造なので諸先輩方にご指導頂き、仕事のこなしかたなどを学び、ついていくのがやっとで、毎日があつたという間でした。二年目によくやく慣れたところで部署の移動(仕事の変更)で埼玉や岐阜・岩手と他事業所へ出張という名目の製造現場応援に行っています。

この時は数か月単位だったので、他

地域の方々との交流もあり、地域が変わると人の考えなんかも変化して、色々な考え方があるのだと実感しました。就職したから勉強することが無いわけではなく、毎日が学ぶ事が多くなります。

その中でも人との繋がりや関わりから得た経験は貴重な財産です。社会人になると職場や学校だけでなく、さまざまな面で人との関わりが増えてきます。当然、嫌な思いもありますが、恐れず、逃げ出さずにひとつひとつ向き合つて良き人間関係を構築して下さい。学生時代のものさしが社会では通用しないことが多々あります。上手いかない理由を人に向けるのではなく、まずは自分に向けてみて良く考えて行動することが大事になります。どれだけ関わり自分の経験として、良い関係を作れたか毎日の満足度合も変わってくると思います。

皆さんも色々な方とふれあい、多様な経験をして下さい。それらすべてがこれからの自分にとっての貴重な財産になると思います。

最後に私の経験からの一言として、「やらずして後悔するならやってみて後悔してください。」特に失敗した経験は自身に大きな成長と貴重な財産になります。これからの生活がより良く、充実した物になることをお祈り申し上げます。

プロフィール

- ◇出身 本宮市(旧白沢)
- ◇趣味 サッカー、ランニング、キャンプ
- ◇在学中の部活 サッカー部

「出来そこない」の私が今「社長」に



有限会社安達鉄筋工業
代表取締役
伊藤 裕一

私の高校時代の私生活を思い出すと後輩の皆様にも自慢できる事は少ないです。現在五十六歳!昭和五十六年四月に、二本松市立第一中学校から松工土木科に入学しました。

卒業してから、早いもので三十九年になり、間もなく四十年です。当時の私は、短ラン・ボンタンという服装で、先生方には困らせる事をし、今思い出すと反省することばかりです。親や周囲の人からは「出来そこない」と言われてました。

そんな私でしたが、先生と級友には恵まれていて、サッカー部に入学しており、キャプテンも勤めさせて頂きました。当時測量の実習が楽しく、文化センターからお城山までの測量が、印象深く良い思い出です。

卒業後は、測量会社就職をしましたが、二十一歳の時に結婚をし、この結婚が自分にとって人生の転機となったのです。妻の父親が経営する鉄筋業を継ぐことになりました。畑違いの仕事でしたが、懸命に向き合い必要な資格を取得し、鉄筋施工技能士の一級技能士を取得する事が出来ました。そして二十年前三十六歳の時に社長となりました。

した。決して、順風満帆ではありませんでした。重圧に押しつぶされそうになった時、松工の卒業の先輩や同級生に色々な場面で助けて頂きました。感謝しております。

二本松工業高校という場所は、自分にとって基礎であり土台を作ってくれた所で心の支えになっております。「出来そこない」と言われた私ですが、今、社長になっております。

まだまだ、道半ばではありますが二本松工業高等学校卒業生として誇りをもって、日々精進して行きます。

プロフィール

- ◇昭和五十八年度 土木科卒業(第二十期生)
- ◇平成十四年 有限会社安達鉄筋工業 代表取締役就任





カヌー部

● 全国高等学校総合体育大会カヌー競技



バドミントン部

● 全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会

ものづくり コンテスト



(機械5)
施盤

(情報5)
電気工事



(都市5) 測量



編集後記

第二十一号同窓会会報発行にあたり執筆・記事を寄せて下さった皆様に感謝申し上げます。同窓生コラムリレーに電気科卒の国分さん・土木科卒の伊藤さんに投稿頂きました。多忙のところありがとうございました。また広告掲載を頂いた各企業様ありがとうございました。お陰様で紙面を昨年の八頁から本年度は十二頁に増やせ内容も充実しました。

本年度は二十一回生から三十回生の皆様に送ります。数年ぶりに見た松工生の活躍はいかがでしたか。頼もしい後輩が育っていると感じて頂ければ幸いです。

世界中に拡大した新型コロナ。今日本は新たに変異したオミクロン株により第六波となり毎日数万人の新規感染者が発生している状況です。感染防止のために学校でも行事・部活動に制限があったと思います。それでも多くの資格検定を取得し進路内定を得た事は大変素晴らしいと思います。

統合により同窓会会報の発行は次が最後になります。発行部数を増やし多くの会員に届けたいと考えています。掲載希望などがありましたら早めに事務局までお知らせください。

会報委員長 高橋 薫
副委員長 鈴木朝裕

委員 大内正人 高橋道夫
石川清徳 菅野健太

事務局

鳴原望美 斎藤美奈
齋藤倫紹 佐々木英雄